

教育

**やさしい日本語でめぐる
まちなさんぽツアー**

文化財保護事業

在日外国人と地域住民の交流を促進するため、歴史や文化体験を「やさしい日本語」で案内するツアーガイドの養成を行います。

問 具体的な事業内容と対象は。
答 やさしい日本語で市の史跡、歴史、文化体験、観光資源などを案内するツアーガイドを市民大学ふじみ野で養成する。

問 在日外国人を対象に、やさしい日本語ツアーを開催する。また、日本語のなぞ解きコンテストなどで地域住民の交流を図りたい。
答 実施時期は、まちなさんぽツアーは、11月頃を目安としている。
問 どのようなツアーを企画しているのか。
答 アーを考えているのか。市の東側は福岡河岸の周辺や権現山を、西側は大井宿などを考えている。また、座禅などの体験も考えている。



権現山探検

文化

**アーティスト発の
企画で文化の活性化
文化振興事業**



どじょうすくいをイベントで披露

アーティストが自ら企画提案した事業を実施します。アーティスト活動の活性化と質の向上、ユニークな情報発信も期待でき、市民が文化芸術に触れる機会の充実が図られます。

問 事業の概要は。
答 市内のアーティスト自らが企画した事業を実施する機会を増やすこと、アーティスト活動の活性化と質の向上、そして市民が見る機会の充実を図るものである。
問 事業予算の内容は。
答 ステラ・イーストホール事業としては1事業110万円で3事業、アート等のワークショップは1事業10万円で6事業、まちなさんぽツアーは5万円で8事業を予定している。また、新型コロナウイルスの感染状況で中止、延期となった事業が多くあることから、既に企画している事業を実施するプラス予算も計上している。

生活

**パートナーシップ
宣誓制度**

男女共同参画推進事業

性的少数者などお互いを人生のパートナーとして約束した2人のため、パートナーシップを公的に証明する制度が7月から開始されます。

問 対象者は。
答 市民または転入予定者で、未婚の18歳以上とし、双方または一方が性的少数者等である。
問 パートナーシップ宣誓の流れは。
答 事前に来庁日を予約し、個室で職員の面前でパートナーであることを宣誓した宣誓書に署名をしてもらう。

住民票など提出書類の確認後、宣誓受領証と2枚の宣誓受領カードを郵送する。なお、発行手数料及び更新の手続きは不要としている。



福祉

**地域密着型サービス
施設の整備**

高齢者福祉施設整備等支援事業

認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護施設が、ふじみ野二丁目に新設されます。

問 施設の現状は。
答 地域密着型サービスのグループホームは市内に5か所あり、19人が待機をしている。新たな施設ができることで、市民のニーズに 대응することができる。
問 小規模多機能型施設は、どのような施設か。
答 通所介護、訪問介護と短期入所を組み合わせた施設となる。

急に短期入所が必要になった場合のほか、通所サービス利用者が宿泊できるなど比較的重度の方に対応ができる。
問 グループホームと多機能型居宅介護施設の規模は。
答 認知症グループホームは18人、2ユニットを



まちづくり

**循環ワゴンがより
使いやすく安全に**

交通政策推進事業

アンケートの結果を基に、安全性・利便性・コストを総合的に判断し、令和5年度から運行する新しいコース、ダイヤを検討します。

問 令和3年度に行ったアンケートの回答数は。
答 1つ目は無作為3千世帯の市民アンケート調査で回収票数は1575票、2つ目はふじみん号利用者アンケート調査で回収票数は257票、3つ目は主要施設利用者アンケート調査で回収票数は396票となっている。
問 事業の進捗状況は。
答 市内公共交通の現状整備、各種アンケート調査の実施、それらの状況を分析し、課題抽出、改善方策の提案まで完了している。



保健

**産婦への切れ目の
ない支援**

母子保健包括支援事業

産婦の心と体の不調を早期に見出し、切れ目のない支援を行うために、新たに産後の健診費用を補助します。

問 産婦健康診査委託料の内容は。
答 産婦の健康状態の把握に加え、エンジンバラ産後鬱鬱質問票、赤ちゃんへの気持ちシート、育児支援チェックリストを用いて、育児不安や精神状況の把握を行う。なお、事業は県が一括で契約し実施する。
問 期待される効果は。
答 医療機関との連携により早急に支援ができるとともに、本人の経済的負担を軽減できると考えられる。
問 委託料の他に補助金もあるが、理由は。
答 里帰り等で県が契約していない場合には、本人の申請に基づき、後日補助金として支払えるようにするためである。

